

雪氷写真館⁹⁸ ブータン・ガンジュラ氷河における質量収支観測 /
Surveys on Gangju La Glacier, Bhutan



写真 1 2013 年 10 月に実施したアイスレーダ観測.



写真 2 2012 年 10 月の下山時. 我々の隊に限らず, 頻繁に馬やヤクのキャラバンの往来がある.



写真 3 電動ドリルによる質量収支観測用のステーク設置.

ブータン・ガンジュラ氷河における質量収支観測

名古屋大学・雪氷圏研究室では 2012 年より、ブータンヒマラヤのガンジュラ氷河にて質量収支の観測をおこなっている。この氷河は地元民が頻繁に往来する峠に位置していることから、アクセスしやすい一方、設置したステークの多くが（おそらくは地元民によって）失われてしまう。このため、ステーク法による観測の他、干渉測位 GPS による測量もおこなうことで、氷河の変動量を把握している。2013 年にはアイスレーダによる氷厚観測を実施したが、予想よりも厚かったため良好なデータを得ることができなかった。2014 年の観測では、異なる周波数のアンテナによる再度の観測を予定している。

藤田耕史・Phuntsho Tshering・小澤亜紀・松橋勇太（名古屋大学）
村上 匠（東京工業大学）
福井幸太郎（立山カルデラ砂防博物館）